

グループで取り組む環境経営

持続可能な社会の実現に向けて、カシオグループは地球温暖化防止と生物多様性の保全に積極的に取り組んでいます。

カシオの考える環境経営

カシオは創業当初から、より小さく、薄く、軽く、ローパワーな製品を作ることに、力を注いできました。天然資源の乏しい日本で、商品価値を高めるためにいかに材料やエネルギーを節約しながら、モノづくりをするかを考えていたのです。カシオのモノづくりには、環境負荷を減らす姿勢が根付いています。カシオグループは、環境負荷の小さい製品を作ることはもちろん、生産、販売、物流、資材調達などの企業活動全体において環境負荷の低減に取り組む「環境経営」を実践しており、特に重点とすべきテーマは「カシオ環境宣言」として明文化しています。

カシオ環境宣言

1. CO₂の削減と吸収
2. クリーンエネルギーの活用
3. 資源の有効利用
4. 事業活動の再生可能エネルギー導入
5. 生態系の保全



中長期的な環境への取り組み

「カシオ環境宣言」に掲げられている中でも、最も重視しているのが、国際社会が総力を挙げて取り組んでいるCO₂の削減です。私たちメーカーが社会に果たすべき役割として、具体的なCO₂削減の数値目標を定めた2020年度、2050年度に向けた中長期行動目標を立て、グループを挙げて、達成を目指します。

また、私たちの社会は、さまざまな生物が共存する生物多様性の上に成り立っています。企業活動においても、生態系を破壊することなく、豊かな生命を育ていくための努力をしなければなりません。事業活動が生態系へ及ぼす影響評価を行い、必要に応じ対策を講じて、次の世代へと、かけがえのない地球を受け継いでいきます。

CO₂削減への取り組み

2050年度に2005年度比80%削減を長期目標とし、2020年度に2005年度比30%削減を中期目標としています。さらには、データプロジェクター、電子辞書などのペーパーレス化に役立つ製品によるCO₂削減、カーボンオフセットなどにより、カーボンニュートラルな企業を目指していきます。

生物多様性への取り組み

2011年3月31日付けで制定した「生物多様性ガイドライン」に基づき、順次、事業活動における生物多様性にかかわる影響評価と、グリーン調達基準書の改訂並びにその内容に基づくサプライヤー調査を実施し、カシオとしての生物多様性に対する取り組みを確実に進めていきます。

技術を活かした環境にやさしい商品づくり

カシオは技術力を活かして、環境負荷の小さい商品づくりに取り組んできました。自然の光だけで動く電波ソーラー時計、小さな本体にたくさんのコンテンツを内蔵した電子辞書、フィルムも現像液も要らないデジ

タルカメラなどの開発によって、人々の生活そのものの省資源、省エネルギー化を実現してきました。

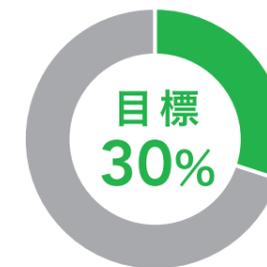


「カシオグリーン商品」を設定、目標を達成

環境に配慮した商品づくりを促進するため、2001年度より、製品が環境に与える影響を事前評価して、一定以上の基準を満たした製品を「グリーン商品」と認定する社内制度をつくりました。2008年度には全売上高に「グリーン商品」が占める割合が84%に達しました。2009年度、2010年度も80%以上の目標を達成しています。

さらに高い目標を目指し「カシオグリーンスター商品」を新設

2009年度からは、持続可能な社会の実現に向けた新たなトレンドをつくる商品として「グリーンスター商品」の認定制度を設けました。「グリーン商品」の中でも、特に優れた環境側面を一つ以上有する商品を「グリーンスター商品」として認定する制度で、2012年度までに全売上高に占める比率を30%とする目標を掲げました。認定した商品には、環境配慮型商品の証として「グリーンスターマーク」を表示しています。



■各商品の評価項目

グリーン商品評価	グリーンスター商品評価
再資源化の促進 (材料表示)	使用時の消費電力を20%以上削減
リサイクル設計	太陽電池使用とエコマーク取得 (電卓)
単一素材部品への分離	太陽電池使用 (時計)
再資源化の向上	10年バッテリー搭載 (時計)
資源の減容化	本体体積を20%以上削減
資源の減量化	重量を20%以上削減
省エネ化	個装箱の小型化により積載率を20%以上向上
化学物質の使用規制	再生プラスチックを重量比30%以上使用
電池の再資源化	バイオプラスチックを重量比25%以上使用
電池のリサイクル表示	特定有害化学物質廃止 (塩ビ)
法規制準拠	LCA環境影響評価で10%以上の改善
単一分別・分解	製品環境効率で10%以上の改善
梱包材の使用規制	環境性能に大きく貢献する機能/サービス (上記以外)
自然環境保護	●グリーン商品基準を満たし、上記項目に該当ありの場合
●100点満点中90点以上	

※ただし、一部品目でグリーンスター認定基準に変動あり。
※環境の変化に伴い定期的に基準を見直します。

グリーンスター商品事例

水銀フリーのデータプロジェクター



XJ-M255



光源に水銀ランプの代わりに、カシオ独自の「レーザー&LEDハイブリッド光源」を使用した水銀フリーのデータプロジェクターです。有害物質である水銀を使わずに、明るい部屋でもくっきり投影できる高輝度を実現した仕様が「環境性能に大きく貢献」していること、「消費電力の20%以上の削減」などから「グリーンスター商品」に認定されました。

東日本大震災後のエネルギー不足に対する緊急施策

東日本大震災後の電力事情の逼迫を受け、カシオグループでは、消費電力の節減のため緊急施策を実施。夏季の休日を、従来の土曜日と日曜日から水曜日と日曜日に振り替える他、一部製造拠点での勤務時間の変更、オフィスの照明の一部消灯や空調設定温度の変更、エレベーターの一部停止、クールビズ適用期間の拡大などにより、節電に努めています。この他、エネルギー節減のためにグループを挙げて努力していきます。

